

<%name%>さま

いつもお読みいただきありがとうございます。

西です。

先日、久々にリアルタイムでメルマガを配信して
いろんな反響をいただいたので、

ちょっと立て続けで配信してみようかなと思います。

実は前回のメルマガでも
もっともっと書きたいことはいっぱいあったんですけど、

さすがに「長すぎた」ので、
無理やり途中でまとめに入ってしまったけど、

実はもっとあるんです。

技術が発達して、最低限生活に必要な物資を超低コストで作れたら
国としてベーシックインカムも導入しやすくなるんじゃないか、とか。

ベーシックインカムって知ってます？

実は僕が数年前くらいから、ちょっとだけ注目している
社会保障のシステムのことなんですけど、

人がその国で生活するために
最低限必要なお金を、全員に、

“無条件に”

国から支給しますよ、という制度のことなんですけど、
(ザックリ言ってしまうと)

要は、「働かなくてもお金がもらえて」
それで最低限生きていくことはできる。

生活保護と似たように聞こえるかもしれないけど、
生活保護は働けないというのを“条件として”支給するものだけど、

ベーシックインカムというのは、それとはまったく違って、
“無条件に”全国民に支給する、という制度です。

すごいですよね。

「働かざる者、食うべからず」

を根底から否定するシステムですよ（苦笑）

普通に日本で生活してる、僕らにとっては、

「ありえねえ〜」

っていう感覚になるかもしれないんですけど、
このシステムのもっとすごいところって、

とある先進国では、
実験的に導入してるってところですよ。

僕の知るところによると、インドとフィンランドで
部分的に、例えばこの地域限定で、とか、
無作為に 2000 人選んで、とか、

そういう限定的に選ばれた人に対して、
ベーシックインカム導入したらどうなるの？

っていう実験が、もう行われてるんですよ。政府主導で。

で、この実験からわかったことってというのが

さらに面白くて、、、

「働かなくてもお金もらえるんだったら、
誰も働かなくなるんじゃないの？」

って思うじゃないですか？

それが違うんですって。

ベーシックインカムもらってても、
普通の人と同じか、それ以上の働きをしている、
っていう実験結果になってるそうです。

まあ、これについては、

- ・この期間だけもらえますよ

という前提なので、

「支給が終わったらヤバイじゃん」

みたいな心理が働いて、
お金もらってても働いているのかもしれないけど、

それでもやっぱり個人的には、
最低限の生活だけじゃ生き方として満足できないから

働いてお金稼いで、もっと人生を楽しみたいよね、

っていうのも働く原動力にはなるような気がして
そういうのも実験結果には表れてんのかな、と考察してます。

人間って、良くも悪くも欲深い生き物だから、

これで最低限生きていけますよ、
っていうお金がもらえたとしても、
やっぱり、もっと欲しいから働いたり、

ただ生きていくだけっていうのも退屈だから、
なんか世の中の役に立つことをやってみて
自分自身の価値というのを認めてもらいたいな、

という原動力が働いたりします。

僕が最近 Twitter で、
(実はやってるんですよ Twitter。たまにですけど・笑)

「働かなきゃ生活できない、っていうモチベーションでは働きたくないな」

みたいなツイートをして、
別に何もバズってないんですけど、

これって裏返せば、
何も心配しなくても生きていけるんだ、
という状態でこそ前向きな「働き」ができるんだ、

ということを示唆しているわけです。

まあそれはさて置き。

無条件に生活を保障したからと言って、
みんながみんな働かなくなるわけじゃないよ、

もちろん働かなくなる人もいるだろうけど、

社会全体としては、「それでも何かやりたい」って思うのが
人間なんじゃないか、

というのが実験的にも、
僕の個人的な見解としても思うわけです。

それで働かなかったとしても
別に誰からも批判されないような社会、

それがベーシックインカム。

僕は最初、それを知ったとき、

「働かなくてもお金がもらえる？なんて怠惰なシステムなんだ！」

って一瞬拒否反応がでたんだけど、

調べれば調べるほど上記のように
肯定的な考えに変わって、

導入されたら面白いな、とまで思うようになりました。

でも、

“絶対に日本では導入できない”

理由があるんです。

その一つが「財源」です。

いま日本の社会保障費が100兆円で、
これをもとに全国民にお金を配ったら、

一人当たり「月額7万円」くらいになるそうです。

財源が社会保障費なので、
それ以外の給付はゼロになる前提で、
月7万円というと相当キツイですよ。

現状の生活保護の月額が13万円くらいらしくて、
さらに生活保護の場合、子どもの保育園の費用とか、
医療費とかも免除（これも社会保障費から負担している）

なので、実際の生活コストとしては13万円よりも
多くのお金が一人の人の生活にかかるわけですね。

つまり、月額7万円じゃ

ベーシックインカムとしての意味をなさない、

ただただ国民にお小遣いをバラまいているだけになる
っていう中途半端な制度になるので、

それが現状でベーシックインカムが絶対に導入できない
というか導入する意味がない大きな理由です。

(もちろん、利権とかもろもろを考え出すと
もっと導入できない理由はあるでしょうけど。。。)

でも、技術革新によって、

生活必需品が超低コストで生産できて、
超低価格で買えるような社会が実現したら、

なんとなく、ベーシックインカムっていうのも
現実味を帯びてきそうですよね。

現在の技術だとそこまでの低コストにはなっていないし
月額7万じゃ生活できないけど、

生活必需品の生産コストというのは、
技術進歩によって今後確実に低下していきます。

で、

「生活するだけならこのくらいのお金でいいよね」

っていう金額が、
国の予算で国民全員に配れる状態になったとき。

社会ってどうなるでしょうね～ (笑)

それも僕は個人的に楽しみなんですよ。

それが何十年後になるかわからないし、
僕が活着ているときに訪れるかどうかともわからないけど、

そうになったら面白いですよ。

今とは、まったく常識が異なる世界。

とまあ、そんなことを思ったりもするわけですけど、
未来を夢見て現実を生きられないと意味がないので、

話しを「現実」に戻しますけど、

ベーシックインカムでの日本での完全導入は、
少なくとも10年以上20年くらいは訪れないと思います。

生活コストに見合う財源がないので。

だからこそ、
そういうことを夢見つつも、

最低限生活に必要なお金を稼ぐために働きつつ、

さらに生活を充実するための費用を稼ぐためにも
働かなきゃならないわけですよ。

だけどここからが重要。

“個人的な努力によって”

自分だけのプチベーシックインカム状態を作り出せるような状況は
もう現実に整っているんだ、

ということを言いたい。
(大事なのはここ)

僕は過去にビジネス系のメルマガ (Infinity) で、

「最近では1日2時間以上働く日はないですね。」

なんていう誰かの非難を浴びそうなことも平気で書きちゃってますけど、

それって別に嫌味な発言をしたいとか、バズらせたいとかじゃなくて、
ただ事実を伝えているだけなんですけど、

それを見て「嫌味な奴だな」って感じた人には逆に聞きたいんですよ。

そもそも、

「毎日平日8時間働いてやっと生活できるんです」

なんて、誰が決めたんだ、ってこと。

なんで2時間はダメなの？

別に2時間でもいいでしょ。

なんなら、1時間でも30分でもいいし、
人によっては、まったく働かなくても自動で稼いでくれる仕組みを
持ってる人なんてたくさんいますよ。ネットの世界。

そいつらから見れば、

「あっそう。」

「へえ〜、2時間も働いてんだね」

っていう人もいる。

2時間でいいし、1時間でも別にいいんですよ。

それに対して、「嫌な奴だな」とか「うらやましいな」とか、
そういう感情って、どこかで、

“8時間があたりまえ”

になっちゃってる。

なんでそこを柔軟に考えないのか。

その8時間ってなんなの。

労働基準法で定められている MAX 値ってだけですよ、ぶっちゃけ。

人を雇う側の会社が勝手に、
最大で働かせて最低限の生活ができるように給与を決めてる、ってだけ。

で、その仕組みに何も考えずに乗っかってるだけ。

それだけ。

それ以上でもそれ以下でもない。

でも現代は、
それに乗っかる以外の道を実現できる環境がいくらでも整ってる。

そんなことは「勉強」によって、
いくらでも実現できるんだってことがわかると思うし、

「行動」によって実際に実現できるんですよ。

だからこそ「勉強」なんですよ。

勉強という努力なくして、そういう道を選択できる力はない。

前回のメルマガにメッセージをくれた読者の方の文章の中で、

=====

行政書士の勉強で指紋押捺の問題が憲法のテーマで出ますよね？

指紋は重要な個人情報です。

警察だってそう簡単に採取できない（ことになっている）。

けれど。

スマートフォンのロック解錠に指紋や網膜認証って、そんな重要な個人情報をどうして気軽に民間企業に差し出せるのか？

今は便利の裏側で、こんな感じで飼い慣らされるきっかけが、そこ此処に潜んでいると思っています。

賢くなって仕組みを知らなければ。

福沢諭吉は「学問のすすめ」のなかで「国家と渡り合えるようになるために勉強なさい」と啓発しています。

現代の相手は、社会のプラットホーム企業でしょうか。

=====

こういう考察をしてきていましたが、まさしくその通りで、

“賢くなって仕組みを知らなければ”

知らず知らずのうちに飼いならされているだけ、になるかもしれない。

搾取されているだけかもしれない。

1日8時間があたりまえ？

それって本当にそう？

自分が納得したうえで決めたこと？

ただただ自分に知識と実力がないから、労働契約を結ぶしか選択肢が見えなくて、

労働力を、時間を、人生を、搾取されてるだけじゃないの？

僕は自分自身に当てはめてそう思った過去があります。

もちろん、それに対して納得できる人できない人、
どちらもいると思います。

それは人それぞれ。

でも僕は納得できなかった。

だから必死に勉強しました。

そしてこれからも勉強し続けます。

それは、自分自身の“自由に生きる権利”を守るためでもあるし、
自分自身の人生をより豊かにしたいからです。

だから僕は、勉強に対して必死になれたし、真剣になれた。

もちろん勉強が「楽しい」っていうのは前提だけど、
時にはつらい時もある。

これ、乗り越えなきゃいけないのかな～？

っていう難しいものを理解しなきゃいけない時もあるんだけど、

そういう時にそれを乗り越える原動力となっているのは
僕の場合、いつもそういう背景があるからです。

さてあなたは？

あなたが勉強に対して必死になれる理由、真剣になれる理由、

それは为什么呢？

自分自身にとっての「勉強する理由」。

それが一番の、だれにも惑わされない、
自分だけの“モチベーション”になるのではないのでしょうか。

ではでは、今日のメルマガは以上になります。
(結局今日も長くなってしまいましたね・汗)

最後までお読みいただきありがとうございました！

西